

事務事業名		伊那谷文化史資料展示公開事業			会計	一般会計					
課等名		美術博物館			事業種別	政策		開始	1	終了	
基本計画上の位置づけ		政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり							
		施策	29	ふるさと意識の醸成							
目的	対象(誰・何を)	1 飯田下伊那広域圏の地域住民 2 学芸員の調査・研究活動			対象指標	指標名及び単位			24年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	1 特別展の開催を通じて、自然や文化・芸術に対する関心を高め、新たな知識や感動を提供する 2 調査研究活動の内容を地域に還元する				圏域住民数(人)			166860		
	向上させたい上位施策の成果指標	1 飯田の自然・歴史・文化を学んでいる市民の数(延べ人数)									
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	特別展等館主催展覧会の観覧者数(延べ人数)			7000	8279	7000				
	成果指標	企画展示(特別展・企画展・特別陳列)の開催数			5	5	5				
	定性目標										
事業概要	1 本事業は、平成23年度まで「特別展示事業」「常設展示事業」とされていたもののうち、人文分野(考古部門含む)に関するものを分離・統合したものである。										
	2 伊那谷の歴史・文化・民俗に関わる特別展・企画展・特別陳列など企画展示と、人文常設展示、およびロビー展示とからなる。										
	3 主に「伊那谷文化史資料調査研究保管事業」の調査・研究活動の成果に基づきながら、展示あるいはそれに伴う図録や講演会・講座などによって公開する。										
事業内容					名称			活動指標			
24年度事業内容	1 企画展示				1 人文展覧会数			1 5回			
	(1) 特別陳列「桜」 3/17~4/22 (2) 柳田國男没後50年記念企画展「民俗の宝庫(三遠南信)の発見と発信」 9/15~10/28 (3) 企画展「伊那谷のやきもの」 12/1~1/27 (4) 特別陳列「飯田市山本 竹佐中原遺跡の旧石器」4/26~5/9 (5) 愛宕神社の三十六歌仙絵馬と飯田の文化」 3/2~4/14				2 図録・リーフレットの発刊数			2 2種			
2 人文常設展示				3 人文常設展示の更新箇所数			3 2箇所				
解説シート「千代米川の板碑」作成				4 ロビー展示			4 1回				
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		0	7,958	6,808	10,556	[24特定財源](国)社会資本整備総合交付金(充当率45%) [25特定財源](国)社会資本整備総合交付金(充当率45%)					
国庫支出金			2,194	1,632	2,852						
県支出金											
起債											
一般財源			5,764	5,176	7,704						
人件費計(千円)②		0		7,152							
正規職員所要時間				2,000							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		0	7,958	13,960	10,556						
事業内容・目標達成状況の振り返り	柳田没後50年展では数多くの新発見資料を展示でき、附属事業も聴講者が多かった。その他、考古博と連携した展覧会が開催できた。										
改革改善の考え方	①問題点	広報活動が弱い。									
	②改革提案	新聞に投稿するなどするよう務める。HPによる広報に一層努める。									